

グループホーム「櫻」第11回運営推進会議議事録

日時 平成21年3月24日(火) 14:00～15:15
場所 グループホーム「櫻」 2F 2号室
出席者 運営推進会議委員
逗子市福祉部 介護保険課長 和田 一 幸
葉桜自治会 副会長・福祉部長 杉 浦 強 司
逗子市民生委員 秋 山 比出夫
社協：地域包括支援センター管理者 木 村 浩 介
(委員5名中4名出席)
医療法人社団柏信会 理事長 角 野 禎 子
看護部長 武 江 友 子
グループホーム「櫻」 管理者 菅 谷 弘 子
事務長 遠 藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

管理者は定刻になったので、各委員に本日の出席を謝し会議次第により角野理事長に挨拶を要請。

2. 理事長挨拶

角野理事長は各委員に年度末多忙な時期における委員会出席の労を謝し、介護保険範囲による高齢者施設の運営の難しさ及び群馬県の施設火災など現況等を簡単に述べ、今後におけるGH櫻の運営に対し協力を要請、挨拶とした。

3. 議案

管理者は理事長挨拶終了後、議事の進行及び報告等を事務長に指示。
事務長は配布資料の確認をした後、会議次第に基づき報告説明を行った。

4. 議題

(1) 報告事項

- ア 運営状況(現況)等について
 - ： 入居者の現況(21.3.1現在)

別紙資料により3月1日現在の状況を説明、報告書作成後の変動について補足した。

退去者は介護度3及び4で年齢は84歳と91歳、逗子市並びに葉山町の計2名。

入居者予定者は介護度1及び2で年齢が82歳と84歳、いずれも逗子市在住の方を予定。

入居希望待機者は9名ですが他施設に入居して様子見の方が3名ほど含まれている。

： 活動状況

資料「さくら」1～3月号によるほか雛祭り行事の一環として実施した、華雅流家元社中のボランティアによる日舞の写真を紹介。

特に青木病院通所リハビリへの通所者との交流をも考慮し会場をリハビリセンターで実施した。

気候の関係で屋内活動が主であったが各月とも季節行事を組み込みボランティアの参加を得て賑やかに華やかに実施でき利用者も大変盛り上がり踊りの輪に入るほどであった旨を補足説明。

イ 平成20年度外部評価受察結果について

別添「評価結果報告書」により概要を報告

1 p 地域密着型サービスの外部評価項目の構成を紹介

2 p 評価結果の内容は持ち帰って読んで頂くことで割愛

3 p 以降は今後取り組みを期待したい項目について説明

ウ スプリンクラー設置に係る概算見積もりについて

逗子市からの紹介により回答した別紙見積書により概要を説明

平成21年度予算で国から1㎡×9,000円の補助が出る。

エントリーするため設計図を基に業者見積もらせたものであり、設置に当たっては詳細にわたり更に検討しなければならない。

当施設は延べ面積669㎡あり約6,000,000円の補助が見込まれる。

概算見積であるが今後規則的にどの程度条件が緩和されるか暫くは様子を見なければならないが、いずれにしても大きな出費が強いられる状況には変わらないものと思われる。

群馬県の福祉施設の火災で10名もの死者を出す事例から、あまり条件緩和は望めない。

(2) その他

懇談形式で意見情報等の交換を行った主な発言は以下の通り。

(順不同)

- : スプリンクラー設置に係る補助金は平成21年度予算なので申請～内示～年度内着工が原則。補助金で設置できる範囲が望まれる。
- : 設置基準の据え置きが2年、平成22年度末までであるので、消防と調整をして準備する必要がある。
- : 事業者もさることながら本件について消防と行政との連携は取れているのか。
- : 関係諸問題等については担当者間の連携は保たれている。
- : 補助金での設置は当然競争入札となる。
- : 群馬県の無届施設(老人ホーム)に関連
返子市にも4施設が運営されている。
病院から退院を迫られ、在宅も老健等福祉施設の入居が出来ない人達の受け入れ先でもあり、福祉担当者としても紹介せざるを得ない現況である。
- : 社会的ニーズとして必要に迫られている施設でもある。
- : 外部評価項目は県が指定したもので、自己研鑽のための自己評価項目であり、自己評価結果を外部専門機関により査察を受け、その結果(公表)が利用者の施設選定の判断基準となるため項目は県下統一されたものである。
- : 平成18年から実施されてきた外部評価項目も、年度ごと若干の見直しがされ当初グループホームの解釈になかったものも含まれてきた。
- : 入居者の介護度が進むにつれプライマリケアが項目に入ってきている。グループホームとしては非常に難しい項目である。
GH、病院、家族の共通課題でもある。
- : 入居者の事を考慮し市、県に対しグループホームに馴染まないものは訴えていかなければならない。
- : グループホームの理念がどのように変わるか見極める必要がある。
- : 介護職員の募集は応募者がありますか。
- : 介護職に見合った賃金が支給できない。他施設の給与と比較し渡り歩く、俗に介護ジプシーといわれるような人が多く、介護施設の定着率は非常に悪い。

介護職員が誇りを持てる仕事に見合った賃金も今回の介護報酬見直しでは地域、施設によっては明暗が分かれる。

- : 同業者との交流を通じた向上について
3年前、必要性を痛感し当法人より逗葉地区の関係施設に呼びかけをしたが、当法人以外では2施設の参加にとどまり、第2回会合以後休会になっている。
その後2法人の参加申し出があったが現在のところ開催に至っていない。
- : 日々のその人らしい暮らしについてはどのような取り組みをされているか。
- : 共同生活介護の観点からも多少の制約はある。ご家族との話し合いや、利用者本人との話し合いの中で妥協点を見出し可能な限り個々のペースを保てるように努めている。
- : 葉桜自治会役員会への参画について、毎週水曜日19:00から実施されているが、グループホームとしての参加はどうか。
- : 新年度の役員改選後、参加させていただき交流を図るようにしたい。
- : 各委員の職場等で人事異動があり当運営推進会議委員の交代も予想される。(約半数が交代)

5. 閉会の辞

議案が終了し予定時間も少し経過したので、管理者は各委員に対し本日の出席を謝し閉会を宣した。